

共通価値を創造するCSR活動

「共通価値の創造」(CSV: Creating Shared Value)とは何か？

「共通価値の創造」とは、企業が社会のニーズや問題に取り組むことで社会的価値を創造し、同時に自らの経済的価値を創造していくという考え方で、ハーバード大学のマイケル・E・ポーター教授によって提唱されたものです。当グループは、CSRをいわゆる社会貢献活動としてだけでなく、社会と企業の両方に価値を生み出すための戦略的な取り組みと位置付けることで、「共通価値の創造」を実現することができると考えています。

「共通価値の創造」の基盤

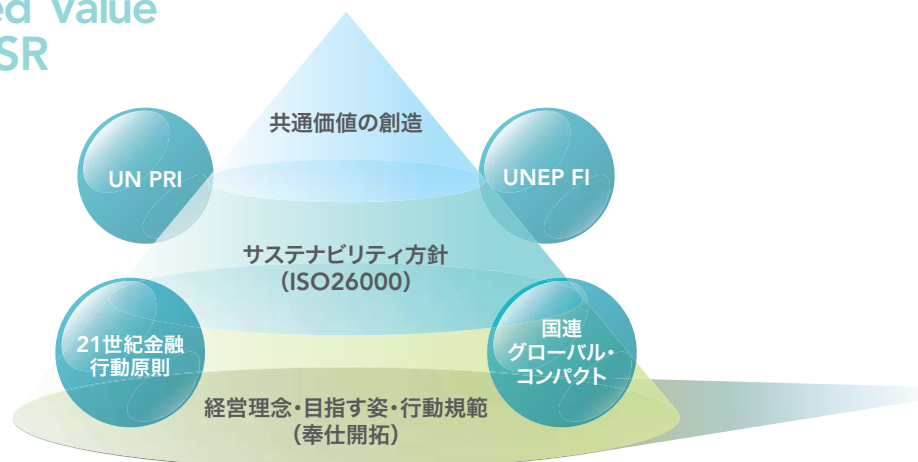
当グループが目指す「共通価値の創造」は、「経営理念(ミッション)」、「目指す姿(ビジョン)」、「行動規範(バリュー)」、およびこれらを踏まえ策定した当グループの社会的責任に関する基本方針である「サステナビリティ方針*」に基づいたものです。これらのポリシーには、経済的価値や社会的価値の創造に取り組む姿勢が明示されています。

特に、行動規範の「社会への貢献 一奉仕開拓」や、サステナビリティ方針の「事業を通じた社会・環境問題の解決への貢献」では、経済的価値と社会的価値を同調させる「共通価値の創造」と一致した考えを示しています。

また、当グループは、国際的な企業行動原則である「国連グローバル・コンパクト」や、国内金融機関の自主原則「持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則(21世紀金融行動原則)」等に署名しており、これら内外のさまざまな社会的責任に関する原則・行動指針を尊重しながら、共通価値の創造を目指しています。

*サステナビリティ方針は、2010年11月に発行された社会的責任に関する国際規格ISO26000の考え方を採用。

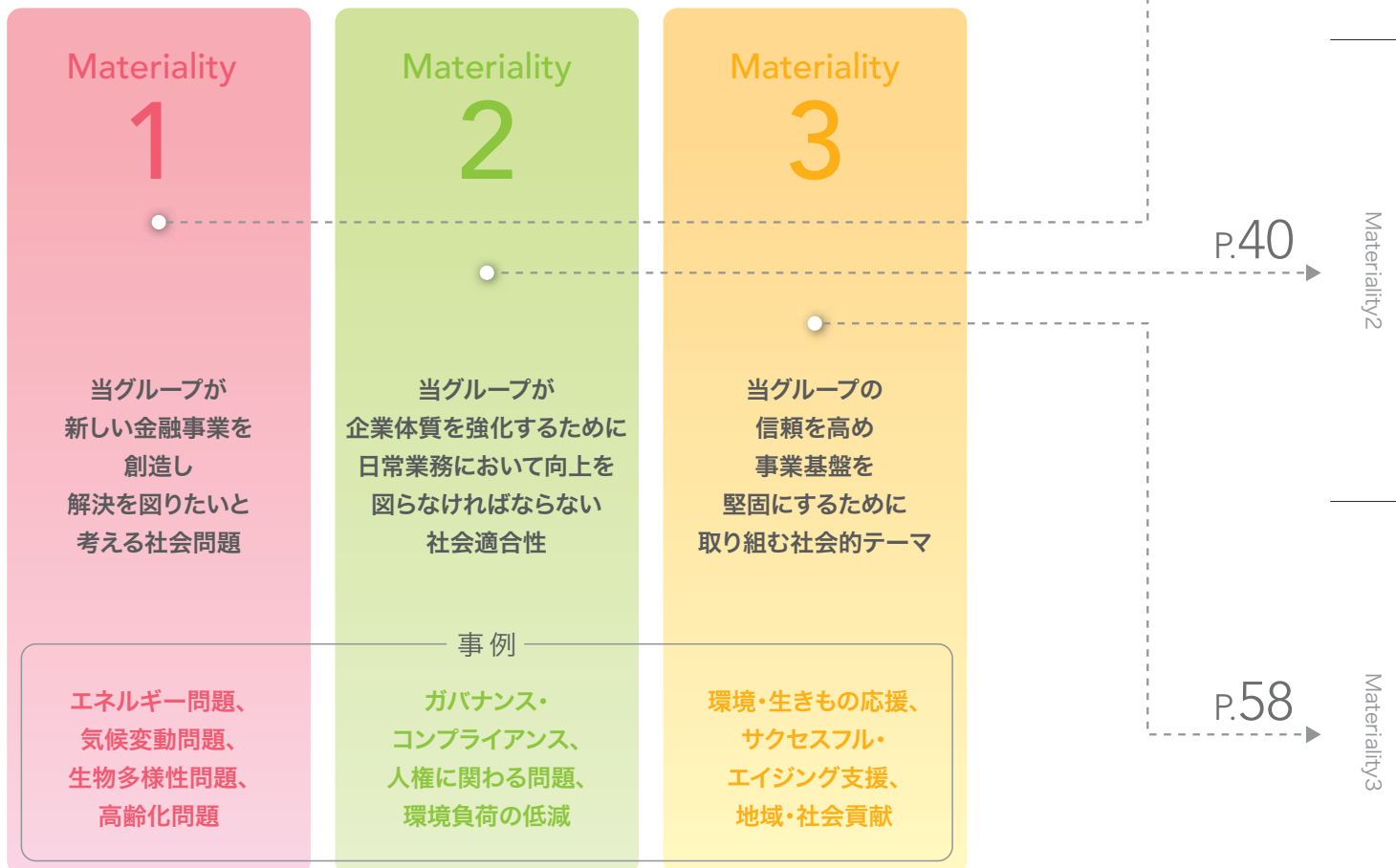
Creating Shared Value by Strategic CSR



戦略的CSR活動による「共通価値の創造」

経営資源が限られている一企業が、すべての社会問題に取り組むことは不可能です。本業と関連性の薄い社会問題に経営資源を傾注しても、企業価値の向上と結び付く可能性は低く、株主やその他のステークホルダーからの期待との間にギャップを生じさせる要因となります。

当グループは、社会との共通価値を創造できる分野、言い換えれば、社会的価値を創造することで当グループの経済的価値も創造できる分野を中心に取り組みを強化しています。CSR活動においては、当グループにとってマテリアリティ*の高い社会（環境を含む）問題・テーマを、3つのカテゴリー、すなわち①当グループが新しい金融事業を創造し解決を図りたいと考える社会問題、②当グループが企業体質を強化するために日常業務において向上を図らなければならない社会適合性、③当グループの信頼を高め事業基盤を堅固にするために取り組む社会的テーマ、に整理し、CSR推進室および担当部署が業務として推進することで、共通価値の創造を目指しています。



*マテリアリティ(Materiality)：企業の財務に影響を与える重要な要因